

味覚障害でもおいしく！

抗がん剤副作用としての味覚障害のメカニズムを解明する

味覚障害があってもおいしく食べて元気になってほしい！
そんな気持ちからはじまりました。

徳島大学医科栄養学科は全国で唯一国立大学医学部の中にある栄養学科として、私たちは常に大学病院の患者さんと向き合い、食に関する問題と向き合いながら研究をしています。私が特に深刻だと考えるのは**がん治療中の食欲不振**。その理由には**味覚障害が大きく影響**します。どうやったらおいしく食べられるのか？科学的根拠を見出し、患者さんが喜んで食べてくれる食品を探す毎日です。

これまでの研究、そしてこれから必要なこと

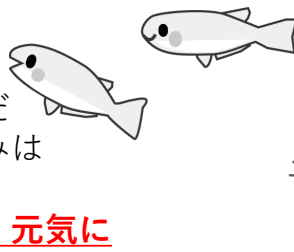
わたしたちはこれまでに、抗がん剤の治療中に舌の味覚受容体遺伝子が減少し、これに対して**うま味が有効**であることを見出しました。（*Tsutsumi et al. Larungoscope 2016*）
またうま味を有効に摂取するために、味覚障害に有効な**ふりかけ**を開発しました。（工場生産化試作中）

わたしたちはこの成果をさらに発展させるため、抗がん剤による味覚障害のメカニズムをさらに追求します。メカニズムを明らかにすることで、**味覚障害に有効なうま味以外の食品や薬剤を見つける**ことができます。

このメカニズムの解明には**メダカ**を使います。メダカはエラや口に多くの味蕾細胞をもっており、味覚の研究に適した生物です。また、遺伝子操作により光るメダカを作成することができ、有効な食品や薬剤を解剖しなくても目でみてみつけることができます。一度にたくさん飼えることも魅力です。

クラウドファンディングに挑戦

抗がん剤の味覚障害についてはまだまだわからないことが多く、患者さんの悩みは多様です。メカニズムを明らかにして**より多くの患者さんにおいしく食べて、元気になる**ため**に味覚研究を発展**すべく皆様のご支援をお願いいたします！



徳島ニュース

がん患者向けふりかけ
開発 徳大大学院・城
西高

2017/2/16 10:17



クラウドファンディング支援サイト

（下記アドレスより支援いただけます）

<https://otsucle.jp/project/mikaku.html>

問い合わせ先

堤理恵：090-3994-4446 rstutsumi@tokushima-u.ac.jp

